

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年2月28日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	鳥取県民チャンネルコンテンツ協議会	代表者名	中島 廣光
担当者部署	事務局	連絡先電話番号	0859-32-6103
担当者役職		担当者氏名	
		連絡先E-mail	
住所	683-0801 鳥取県米子市新開2丁1-7		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	鳥取県	連絡先部署	情報政策課
担当者氏名		連絡先電話番号	0857-26-7642
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宇田川 真之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	具体的な過去の災害事例とその研究、分析結果、関係者の声により災害情報伝達における課題をリアリティをもって感じることができた。もしこの街で災害が起きた時に、類似した状況に陥った際に、何をすべきかという具体的な対策も提案頂けた。実証実験レベルの事例も教えて頂き、今後の情報伝達の手段、可能性について学ぶことができた。情報発信する自治体や情報伝達をするメディアにとっても市民の目線で必要な情報を講演頂き、多くの気づきがあった。また、60枚以上のスライドを用意していただき、聴講者に配布したところ、資料的価値も高いと評価いただいた。
アドバイザーへの要望事項	機会があれば、継続的に最新の事例紹介、研究成果をご講演頂きたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年2月26日	14時00分	16時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名	ANAクラウンプラザホテル米子		最寄駅	米子駅
	所在地	鳥取県米子市久米町53-2			
	最寄駅からの交通手段	タクシー/バス5分、徒歩10分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	協議会会員、自治体、企業、放送局、個人	57人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	災害が甚大化、想定外の被害が発生している中で、地域住民を守るために情報発信者(自治体、放送局など)はどのように情報を伝え、防災に寄与できるのか、専門家によるアドバイスや学びが必要であった。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	過去の災害対応の事例把握、防災情報に関する研究成果、今後の防災への取り組みに対して心掛けるべき事項を知ること。 何よりも防災における現状の課題の抽出と解決策を学び、今後、同じ状況に陥らないようにしたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	講演により過去の様々な災害発生時の状況と反省、課題を教えて頂いた。そのうえで現状のシステム化により解決されるもの、昨今の災害により浮き彫りになった新たな課題についてご教授頂いた。佐用町、伊豆大島、東日本大震災の避難における事例と課題について例示して頂いた。現在、未来の防災情報収集、提供のシステムや取り組みをご教授頂いた。防災情報の伝達だけではなく、判断や共助、防災意識の重要性に気付かしていただいた。参加者は、鳥取県民ch会員29名。属性としては、自治体6名、メディア関係26名、防災関連16名。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	会場アンケートより下記の改善、解決効果を得た。 ・情報と防災の講演会について、参加者の71%の満足を得た。 ・講演内容について、参加者の69%の満足を得た。 ・参加者の80%が仕事やプライベートで役立つヒントを得たと回答した。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 会員、鳥取県内の関係者にとって改めて災害時の判断、共助、防災意識の重要性を認識することができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	参加者同士の連携による「情報」を使った防災への具体的な取り組み。 警戒レベルの中に「避難指示」と「避難勧告」が混在する現状の運用と住民に対するわかりやすさ、 避難判断の明快さは、発信者としては、検証を重ねていく。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果 についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果を添付。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	今回の講演により鳥取県内の情報発信者(自治体、放送局)の防災情報伝達を向上し、より効果的に 住民に情報を伝えていくこと。情報により地域住民の防災に貢献していくこと。

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

講演会「情報と防災」(2020年2月26日開催) 記録写真

